

6月定例会での勝川議員の一般質問(その2)

中小企業の振興政策の推進について

「掛川市協働による中小企業振興基本条例」を生かし小規模事業所などへの支援を

◆勝川振興会議をどのように組織し、具体化していくのか。ニーズ把握の方法は。

◇市長 企業代表者、中小企業支援団体の代表者、市民、学識

経験の中から委員を選任する。地域経済の振興は、地域での経済循環が何よりも重要。企業の自助努力だけではなく、行政、支援団体、市民等のそれに応じた努力が必要だと考

えている。

◆勝川 今年6年目となる住宅リフオーム制度の申請数や事業額・経済波及効果などはもつと拡充できなか。

◇環境経済部長 今年度は申請数209件。買い物券交付予定額1835万4000円。対象工事費2億7500万円。経済波及効果が計算ツールで5億6千万円と考えられる。**選ばせず、全件受け付けた。** 来年度以降は検討をする

地元の声を大切に

◆勝川 We+138ストアなどの再開発には、消費者、特に女性の声を聞いて地域とともに歩む視点が必要では。

8月8日「協働による中小企業振興基本条例」に基づき設置された、中小企業振興会議の初会合が開催されました。



2018年度6月の一般会計補正予算に賛成しました。

- ・補正額7908.8万円
- ・補正予算の主な内容

①子ども医療費助成増

子どもの医療費助成制度の対象年齢を高校生まで拡充(2534万円)

※今年の10月から実施

②木造住宅耐震補強事業助成金増

耐震補強工事を推進するため新制度を創設(1025万円)

③ブロック塀等耐震改修事業費補助金増

大阪北部地震のブロック塀倒壊事故を受け、ブロック塀等への緊急対応を行なうため(2580万円)
※第2小・東山口小等のブロック塀撤去、補助金の増額



犠牲者を出した大阪のブロック塀



市として責任をもつた維持管理を

◆勝川 掛川駅周辺、お城や逆川土手などは、観光客をお迎

えする掛川の顔ともいべき場所。市の行なう維持管理が追いつかず、草が生い茂っている。市として責任を持つた維持管理ができるよう管理方法等の見直しができないか。

◆勝川 「この機械が壊れたらもう廃業だね」「市の仕事はうちのような小さいところにこそ、優先して回してほしい」「求人を出しても人が来ない」など深刻なニーズを把握して支援策を。

◇市長 今言つたことも含めしっかりと対応していきたい。

◆勝川 商工会に入れないと個人も補助制度を利用できる援助をする仕組みなどをもつて、振興会議の中で検討して頂きたい。

◇市長 振興会議がその方向で運営できるよう検討する



掛川駅北口



駅前街路樹下



駅前公園



逆川土手



掛川城下



御殿横

駅周辺の草刈り等のあり方について

逆川土手・お城の周辺なども観光スポットであり、市民として恥ずかしい。草などの全体把握をし、管理を

が必要ではないか。草刈り名人といわれる職員さんの拡充などで市内の気持ちのよい環境維持をする必要があるのではないか。

◆勝川 現在駅から掛川城周辺までの維持管理は、それぞれの担当課が行なつていて、今年度全体の管理計画を作成し、来年度からしっかりと実施する。市長として、掛川市全域きれいなまちを目指したい。

- ・9月3日(月) 本会議(開会)
- ・9月18日(火) 本会議(一般質問)
- ・9月19日(水) 本会議(一般質問)
- ・9月20日(木) 本会議(一般質問)
- ・議案質疑(委員会付託)
- ・9月25日(火) 一般会計決算特別委員会/特別会計・企業会計決算特別委員会
- ・9月26日(水) 一般会計決算特別委員会/特別会計・企業会計決算特別委員会
- ・10月4日(木) 本会議(閉会)

掛川市議会
9月定例会
の日程

